【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【公開番号】特開2017-84285(P2017-84285A)
【公開日】平成29年5月18日(2017.5.18)
【年通号数】公開・登録公報2017-018
【出願番号】特願2015-214887(P2015-214887)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｑ　10/10　(2012.01)
Ｇ０６Ｆ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｑ　10/10　１００
Ｇ０６Ｆ　13/00　６５０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成31年4月26日(2019.4.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
端末を操作するユーザが仮想会議室を用いてウェブ会議を行うことが可能なウェブ会議システムであって、前記ユーザによる前記仮想会議室への入室のための操作指示を受け付けたことに応じて、前記ユーザを前記仮想会議室に入室させる入室手段と、前記端末から前記ウェブ会議システムへの接続ができない場合に、前記入室手段により入室していた前記ユーザを当該仮想会議室から退室させる退室手段と、前記退室手段により当該仮想会議室から退室させた前記ユーザの端末と前記ウェブ会議システムとが接続されたことに応じて、前記操作指示を受け付けることなく当該ユーザを前記退室手段により退室させた仮想会議室に再入室させる再入室手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
端末を操作するユーザが仮想会議室を用いてウェブ会議を行うことが可能なウェブ会議システムであって、
前記ユーザによる前記仮想会議室への入室のための操作指示を受け付けたことに応じて、前記ユーザを前記仮想会議室に入室させる入室手段と、
前記端末から前記ウェブ会議システムへの接続ができない場合に、前記入室手段により入室していた前記ユーザを当該仮想会議室から退室させる退室手段と、
前記退室手段により当該仮想会議室から退室させた前記ユーザの端末と前記ウェブ会議システムとが接続されたことに応じて、前記操作指示を受け付けることなく当該ユーザを前記退室手段により退室させた仮想会議室に再入室させる再入室手段と、
を備えることを特徴とするウェブ会議システム。
【請求項２】

前記退室手段で退室させたユーザのユーザ情報を記憶する記憶手段と、
をさらに備え、
前記再入室手段は、前記ウェブ会議システムと接続された前記ユーザのユーザ情報が前記記憶手段に記憶されている場合に、当該ユーザを前記退室手段により退室させた仮想会議室に入室させることを特徴とする請求項１に記載のウェブ会議システム。
【請求項３】
前記再入室手段は、前記ウェブ会議システムと接続された前記ユーザのユーザ情報が前記記憶手段に記憶されていない場合は、前記入室手段により当該ユーザを前記操作指示に応じた仮想会議室に入室させることを特徴とする請求項２に記載のウェブ会議システム。
【請求項４】
前記再入室手段は、前記退室手段で前記ユーザを退室させた仮想会議室での会議が開催されている場合には前記ユーザを当該仮想会議室に再入室させ、前記退室手段で前記ユーザを退室させた仮想会議室での会議が開催されていない場合には前記ユーザを入室させる仮想会議室の選択を受け付けることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載のウェブ会議システム。
【請求項５】
前記再入室手段は、前記退室手段で前記ユーザを退室させた仮想会議室に他のユーザが参加している場合には前記ユーザを当該仮想会議室に再入室させ、前記退室手段で前記ユーザを退室させた仮想会議室に他のユーザが参加していない場合には前記ユーザを入室させる仮想会議室の選択を受け付けることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載のウェブ会議システム。
【請求項６】
前記再入室手段は、前記仮想会議室へ再入室を行う前に再入室を行うか否かの確認画面を表示し、ユーザにより再入室を行う旨の選択を受け付けた場合は前記ユーザを前記仮想会議室へ再入室させ、ユーザにより再入室を行わない旨の選択を受け付けた場合は前記ユーザを入室させる仮想会議室の選択を受け付けることを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載のウェブ会議システム。
【請求項７】
端末を操作するユーザが仮想会議室を用いてウェブ会議を行うことが可能なウェブ会議システムの制御方法であって、
前記ユーザによる前記仮想会議室への入室のための操作指示を受け付けたことに応じて、前記ユーザを前記仮想会議室に入室させる入室ステップと、
前記端末から前記ウェブ会議システムへの接続ができない場合に、前記入室ステップにより入室していた前記ユーザを当該仮想会議室から退室させる退室ステップと、
前記退室ステップにより当該仮想会議室から退室させた前記ユーザの端末と前記ウェブ会議システムとが接続されたことに応じて、前記操作指示を受け付けることなく当該ユーザを前記退室ステップにより退室させた仮想会議室に再入室させる再入室ステップと、
を含むことを特徴とするウェブ会議システムの制御方法。
【請求項８】
コンピュータを、請求項１乃至６の何れか１項に記載のウェブ会議システムとして機能させるためのプログラム。